

いきいき弥小っ子

6年生佐渡修学旅行を終えて～為す（体験）ことによって学ぶ～

校長 石黒 和仁

6年生は、10月29日、30日の1泊2日で、佐渡に修学旅行に行ってきました。佐渡のB級グルメ「ブリカツ丼」実食、砂金採り体験、コース別ろくろ・手びねり・裂織体験、佐渡金山見学、八幡館宿泊、佐渡太鼓体験（指導：鼓童のメンバー）、トキの森公園見学等です。

年度当初は、6月末に、長野方面を計画していました（校長の強い意向です）。村が災害時相互援助等に関する協定を結ぶ長野県青木村の青木小学校訪問を軸に、善光寺周辺（門前町）散策等、弥彦村と対比しながら、班別の見学や調査、発表や交流を行おうと…。

ところが、新型コロナウイルス対応により、時期や方面を変更せざるを得ませんでした。また、3密を避けることから、制限が多く、団体行動中心の修学旅行となりました。

それでも、中止等になった行事が多い中、6年生全員が無事に行くことができ、楽しい思い出になったことが何よりです。さらには、6年生のよさが発揮され、6年生としてのまとまりが増したことが大変うれしかったです。注意したのは、夜になかなか眠らないことぐら이었다と思います。あいさつがよかったです。行動での時間厳守ができていました。見学や体験に積極的に取り組みました。活動班や宿泊班での教え合い、助け合いがとても良かったです。宿の方が、「食事会場に入るときに履物をしっかりと揃えていること、おかわりのときにしっかりとお願いします、ありがとうございますと言することができることなど、素晴らしいですね」とおっしゃったことが印象に残っています。いい修学旅行でした。6年生のみなさん、ありがとう。保護者の皆様のご理解とご協力に感謝申し上げます。

6年生は、今後、訪れた佐渡と弥彦を比較して、弥彦の魅力を伝えていく弥彦タイムの活動に生かしていくとのことです。まさに、為す（体験）ことによって学ぶ、です。充実した活動を期待しています。



体験活動後、余った時間に進んで振り返りを書く子どもたち

為す（体験）ことによって学ぶ②～最近・少し前の出来事

1年生は、生活科で弥彦公園に行き、野外活動を楽しみました。2年生は、生活科でポップコーン作りを行いました。塩味とキャラメル味、いずれもおいしかったです。3年生は、社会科で弥彦消防署に見学に行きました。4年生は、社会科で村の増田防災室長からお話を聞いたり、大河津分水を見学したりしました。5年生は、9月末に県立こども自然王国（柏崎市高柳）で1泊2日の野外教室を行いました。友達と協力してカヌー、アドベンチャーゲーム、石のペンダント作り、キャンプファイヤー、野外炊飯を行いました。まなびの教室は、さつまいもを堀り、スイートポテトを作りました。6年生は、理科で地層見学に行ってきました。

幾度となく申し上げますが、学び（学習）は、教室の座学ではありません。百聞は一見にしかず、百見は一行にしかず。「為す（体験）ことによって学ぶ」ことが大事です。そして、活動や学習したことをしっかりと振り返り、意味付けることも大事です。そのため、話し合う・書く活動を必ず位置付けています。前ページでの6年生の写真の姿もその一つです。

学習発表会～為す（体験）ことによって学ぶ③～

14日（土）に学習発表会を行います。新型コロナウイルス対応により、例年の全校発表ができないことから、学年部での発表会としました。学年で1、2曲ずつ、学年部で1曲。発表時間は長くはありません。派手な演出や装飾等はなく、普段の音楽や体育授業の延長です。ご承知おきください。

とはいえ、他の学年や保護者の前での発表です。音楽室での発表とは違い、子どもにとってはプレッシャーでしょう。集団での練習が増え、負担を感じる子どももいるかもしれません。それでも、私はそこが大事だと思っています。みんなで心を一つにして、目標に向かってがんばって取り組む過程に意味があります。子どもたちは、学習発表会をとおして、多くのことを学び、力をつけてくれることでしょう。これも「為す（体験）ことによって学ぶ」です。それらを踏まえて、当日の発表をお楽しみください。

☆ご来校に際し、検温等の健康チェック、マスク着用、手指消毒の徹底をお願いします。また、感染予防やスムーズな移動のため、保護者用の椅子は用意しません。シート、座布団等の敷物をご用意ください。寒さ対策もお願いします。

（文責：24年ぶりの佐渡修学旅行引率。子どもたちのすばらしい姿とともに、天空のラピュタ似と称される北沢浮遊選鉱場跡を初めて見たこと、八幡館の夕食にカニまるごと一杯がついていたこと、大空を舞う野生の朱鷺を見たこと、バスに乗ったままカーフェリーに乗船したことでテンションが上がった石黒）